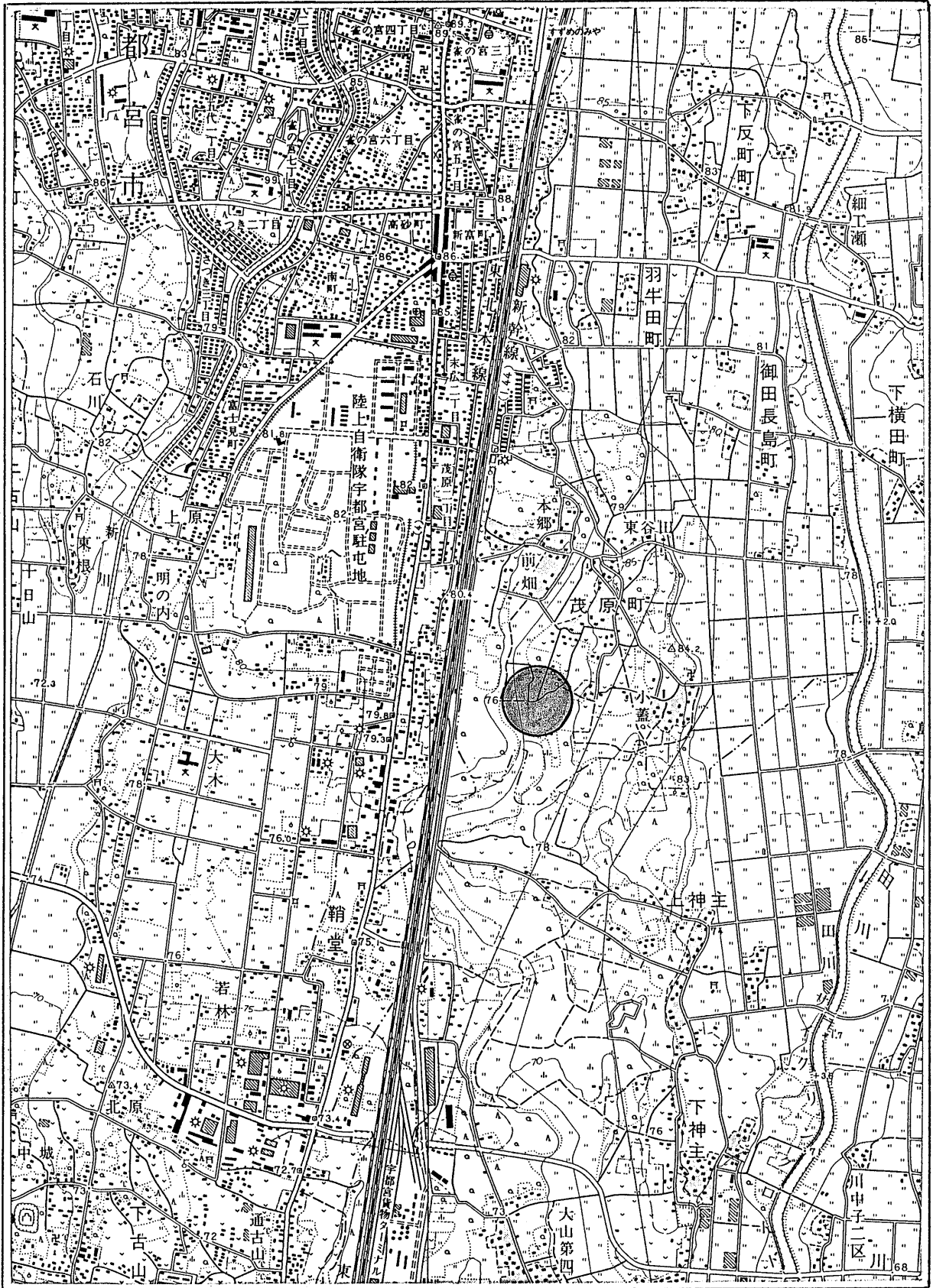
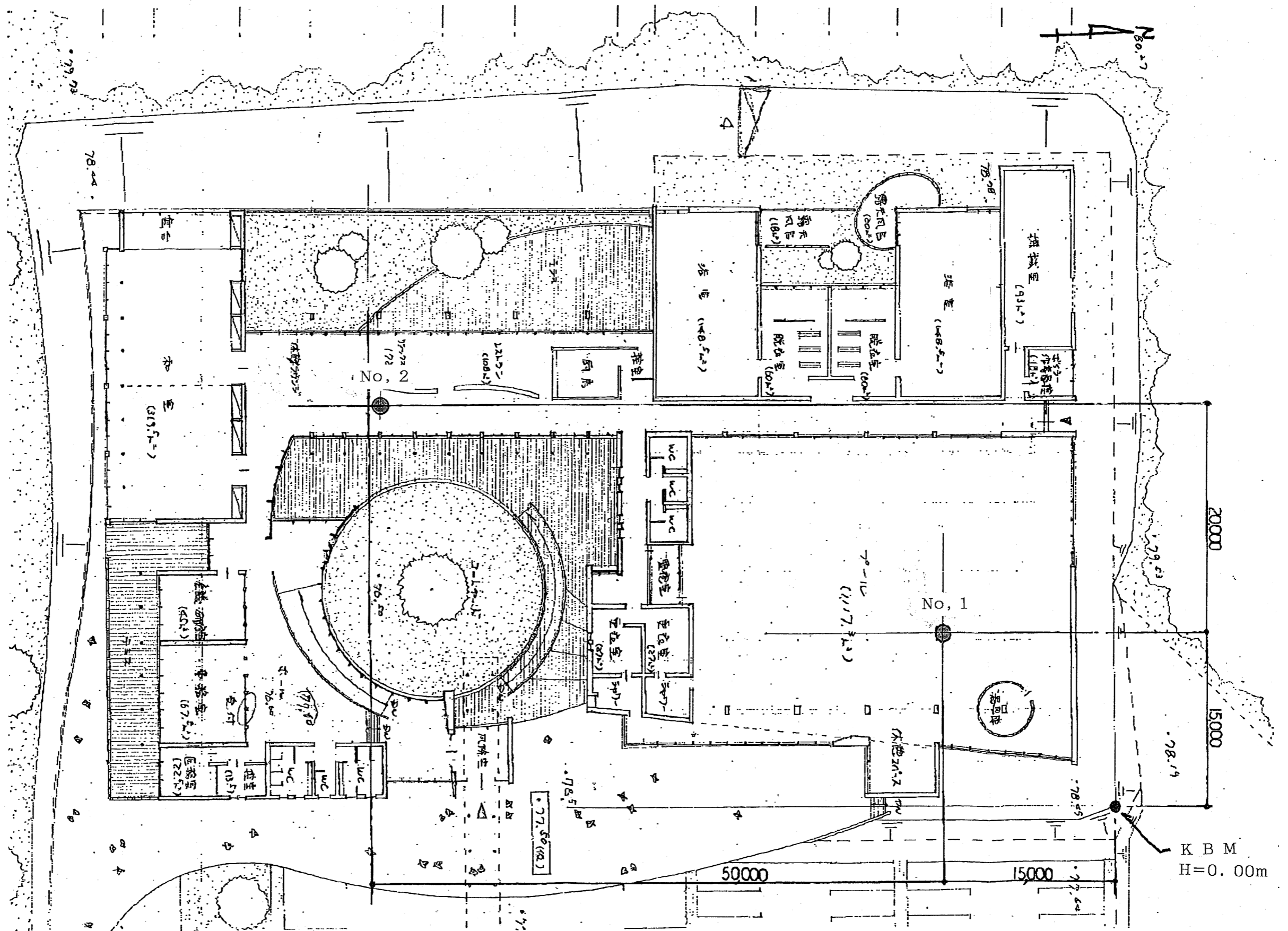


調査地案内図 縮尺 1 : 25,000



# 調査地点位置図

S=1:350



# ボーリング柱状図

調査名 (仮称) クリーンパーク茂原健康交流施設新築工事

ボーリングNo. \_\_\_\_\_

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No, 1		調査位置	宇都宮市茂原787-1他			北緯
発注機関	宇都宮市			調査期間	平成11年12月21日～11年12月24日		東経
調査業者名	日本測地株式会社 電話(0285-84-5355)		主任技師	現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者
孔口標高	0.036m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直90°
総掘進長	10.37m	度		使用機種	試錐機 YBM-05DA-2型	ハンマー落下用具	コーンパーラー
				エンジン	NS-8	ポンプ	V-6A

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				N値	原位置試験		試料採取番号	採取方法	室内試験 (月日)
											深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	深度 (m)		試験名および結果				
1				埋土	暗褐色				軟らかい シルト・ローム等の混合土 ～非締まっている 常に植物根混じる 軟らかい 不均質な層相を呈す	12/24 4.65	1.15	1	1	1	3/30		1.15	1	○	12/21
2											2.15				0/50		2.15	2	○	
3	-2.96	3.00	3.00								2.65	0	1	1	1/30		2.65	3	○	
4	-4.26	1.30	4.30	シルト	暗黒褐色				非常に軟らかい 全体に粘性帯びる 含水中位 所々、植物根多量に混じる 以深、所々砂分優位となる		3.15	0	1	1	1/30		3.15	4	○	
5				粘土	暗褐色 暗茶褐色				軟らかい 上部全体に粘性帯びる 含水中位 所々、砂分(細砂)多量に混じる 深度4.6m付近より色調暗茶褐色 に変化する		4.15	0	1	1	1/30		4.15	5	○	
6	-5.76	1.50	5.80								4.45	1	1	1	3/30		4.45	6	○	
7				粘土混じり砂礫					礫径Max80mm程度の大礫を希に介在し、径5～30mm程度の亜円礫～円礫を主にマトリックスは粘土・砂にてうずめられる 固結度はやや高く、部分的にルーズな層相を呈す 深度8.0m付近、礫の含有が少なく、砂分優位となる 深度9.50m～9.70m付近、逸水あり		6.15	12	20	18/5	50/25		6.15	7	○	
8											6.40	18	32/8	50/18		6.40	8	○		
9											7.15	10	20	20/5	50/25		7.15	9	○	
10	-10.33	4.57	10.37								7.33	10	20	20/5	50/25		7.33	10	○	12/24
											8.15	16	16	18	50/30		8.15			
											8.40	23	23	4/2	50/22		8.40			
											9.15						9.15			
											9.45						9.45			
											10.15						10.15			
											10.37						10.37			

# ボーリング柱状図

調査名 (仮称) クリーンパーク茂原健康交流施設新築工事

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 2		調査位置	宇都宮市茂原787-1他			北緯	
発注機関	宇都宮市			調査期間	平成11年12月25日～11年12月27日		東経	
調査業者名	日本測地株式会社 電話(0285-84-5355)		主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	-0.053m	角	180°上 90° 0°下	方	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直0°	使用機種
総掘進長	12.25m	度		向		試錐機	YBM-05DA-2型	ハンマー落下用具
						エンジン	NS-8	ポンプ
								コーンプーリー
								V-6A

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	相対稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				N 値	原位置試験	試験名および結果	深さ (m)	試験番号	採取方法	室内試験 ( )	掘進月日
											深さ (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0								
		-0.95	0.90	0.90	軽石	黄褐色			鹿沼軽石 粒径1~5mm程度、高含水水位所々、風化帯びる		1.15	1/30		1/30			1.15	1	○			
		-2.35	1.40	2.30	ローム	茶褐色			非常に軟らかい 火山灰質粘性土全体に有機物等多量に混じる 含水中位 下部に従い、砂分優位となる		2.15	1	1/20	2/30			2.15	2	○			
		-4.75	2.40	4.70	細砂	暗茶褐色		緩い / 中ぐらい	粒径均一な細砂 含水中位 深度4.0m付近、全体に中砂・浮石等多量に混じる	12/27 4.16	3.15	1	2	2	5/30		3.15	3	○			
		-6.55	1.80	6.50	砂質粘土	暗緑~茶褐色		軟らかい / 非常に硬い	全体に粘性帯びる 以深、礫分多くなる		4.15	4	5	4	13/30		4.15	4	○			
		-9.85	3.30	9.80	粘土混じり砂礫	暗茶褐色		密な	礫径Max80mm程度の大礫を希に介在し、径5~30mm程度の亜円礫・円礫を主にマトリックスは粘土・砂にてうずめられる 固結度はやや高く、部分的にルーズな層相を呈す		5.15	1	1	1	3/30		5.15	5	○			
		-10.95	1.10	10.90	礫混じり粘土	暗茶褐色		硬い	若干の粘性帯びる 全体に浮石・小礫等多量に混じる 径1~15mm程度の亜円礫主体		6.15	9	10	8	27/30		6.15	6	○			
		-12.30	1.35	12.25	砂礫	暗茶褐色		非常に密な	最大礫径80mm程度 礫径5~30mm程度の亜円礫・円礫主体 固結度はやや高く、部分的にルーズな層相を呈す 深度11.0m付近、部分的に50~80mm程度の大礫多く混じる		7.15	25	25	8	50/18		7.15	7	○			
											8.15	27	23	9	50/19		8.15	8	○			
											8.34						8.34					
											9.15	10	10	10	30/30		9.15	9	○			
											9.45						9.45					
											10.15	6	4	3	13/30		10.15	10	○			
											10.45						10.45					
											11.15	18	20	12/4	50/24		11.15	11	○			
											11.39						11.39					
											12.15	50			50		12.15	12	○			
											12.25				10		12.25					